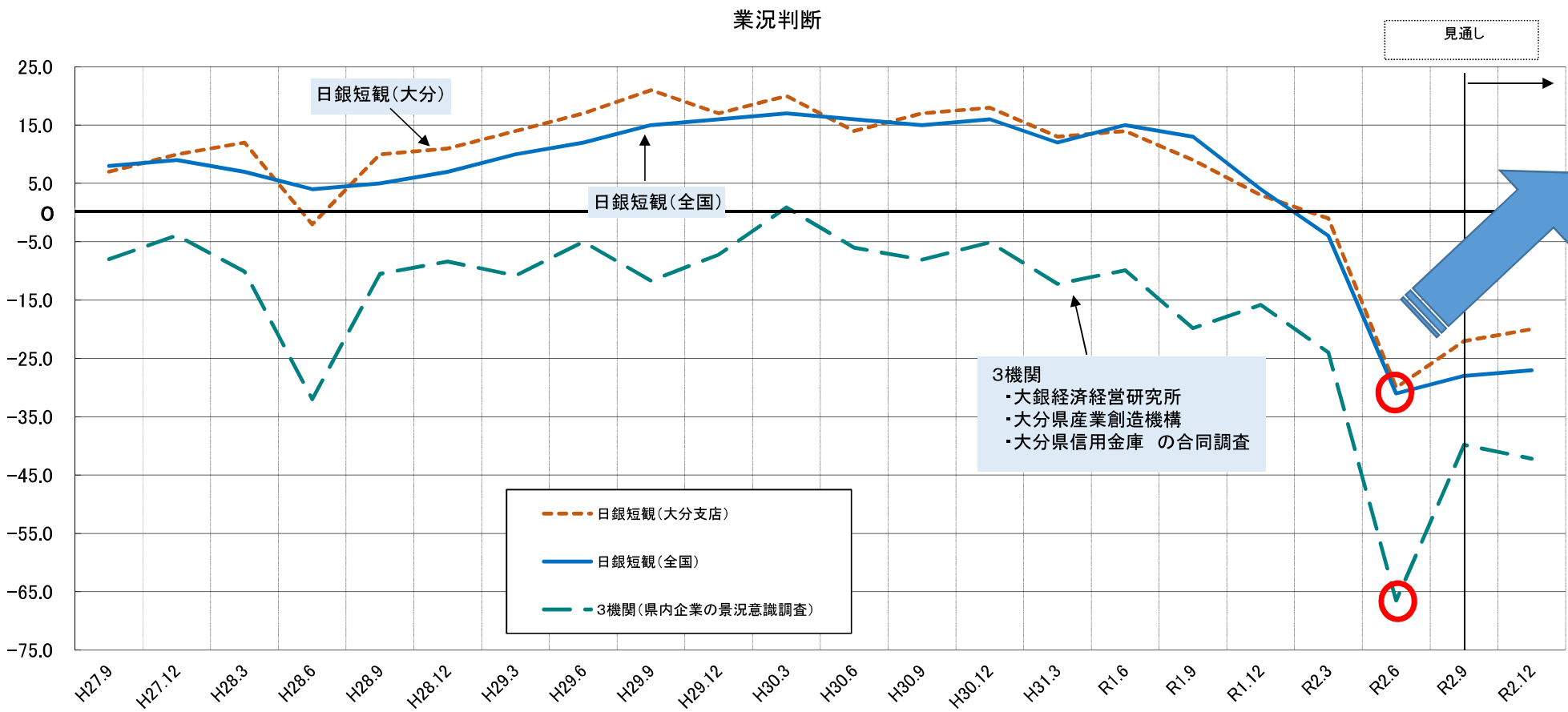


社会経済再活性化について

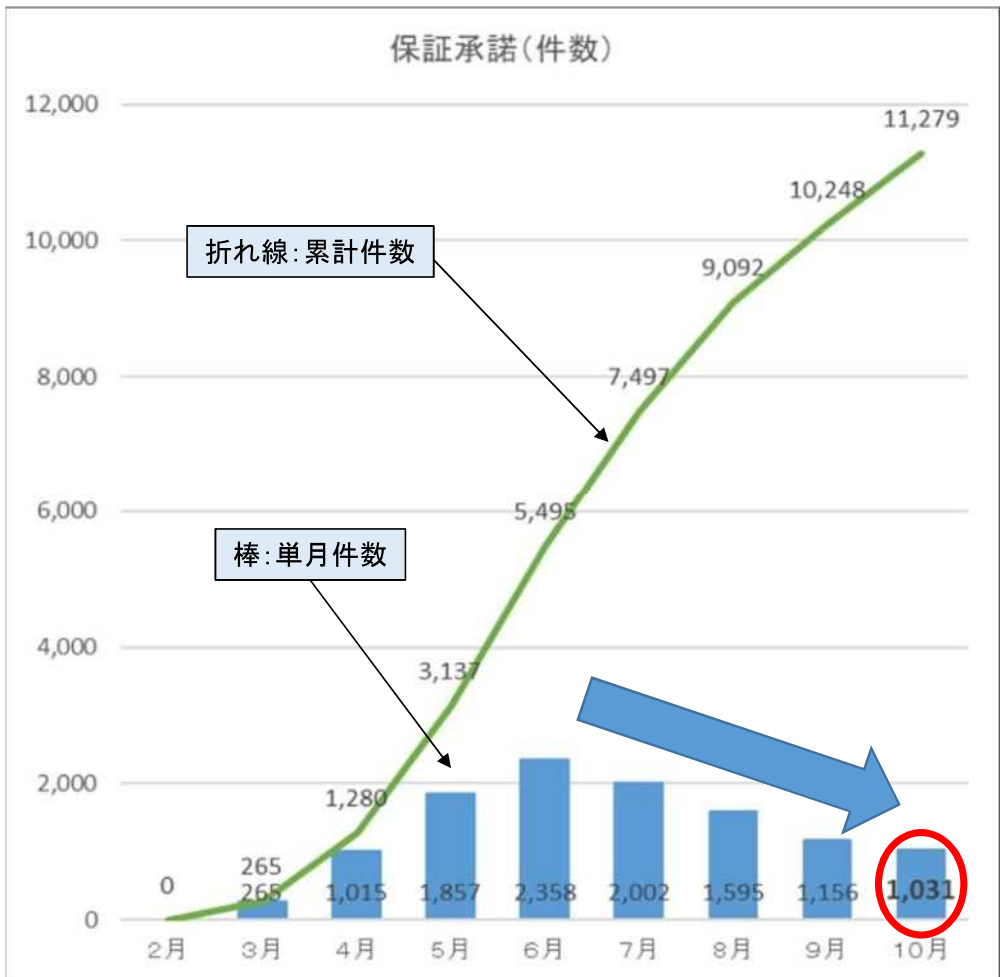
県内の景況感は、厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きが見られる。



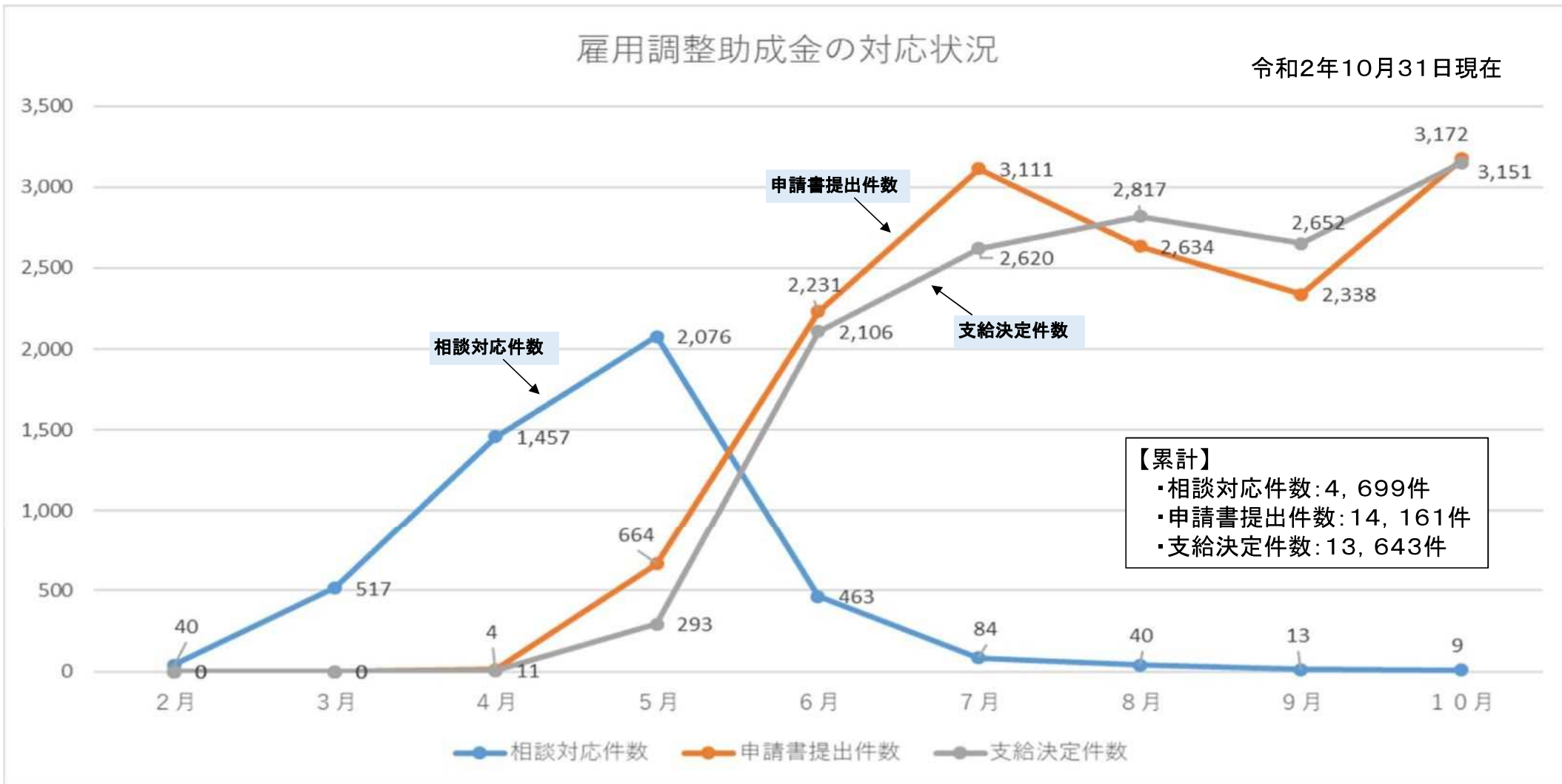
(出典)日本銀行大分支店「企業短期経済観測調査」(大分支店調査)
 株式会社 大銀経済経営研究所「県内企業の景況意識調査」

資金需要は、件数・金額ともに、このところ落ち着いてきている。

県制度資金(がんばろう資金、コロナ対策特別資金)の状況 (令和2年10月31日現在)



雇用調整助成金は、相談件数が落ち着き、順調に支給されている。



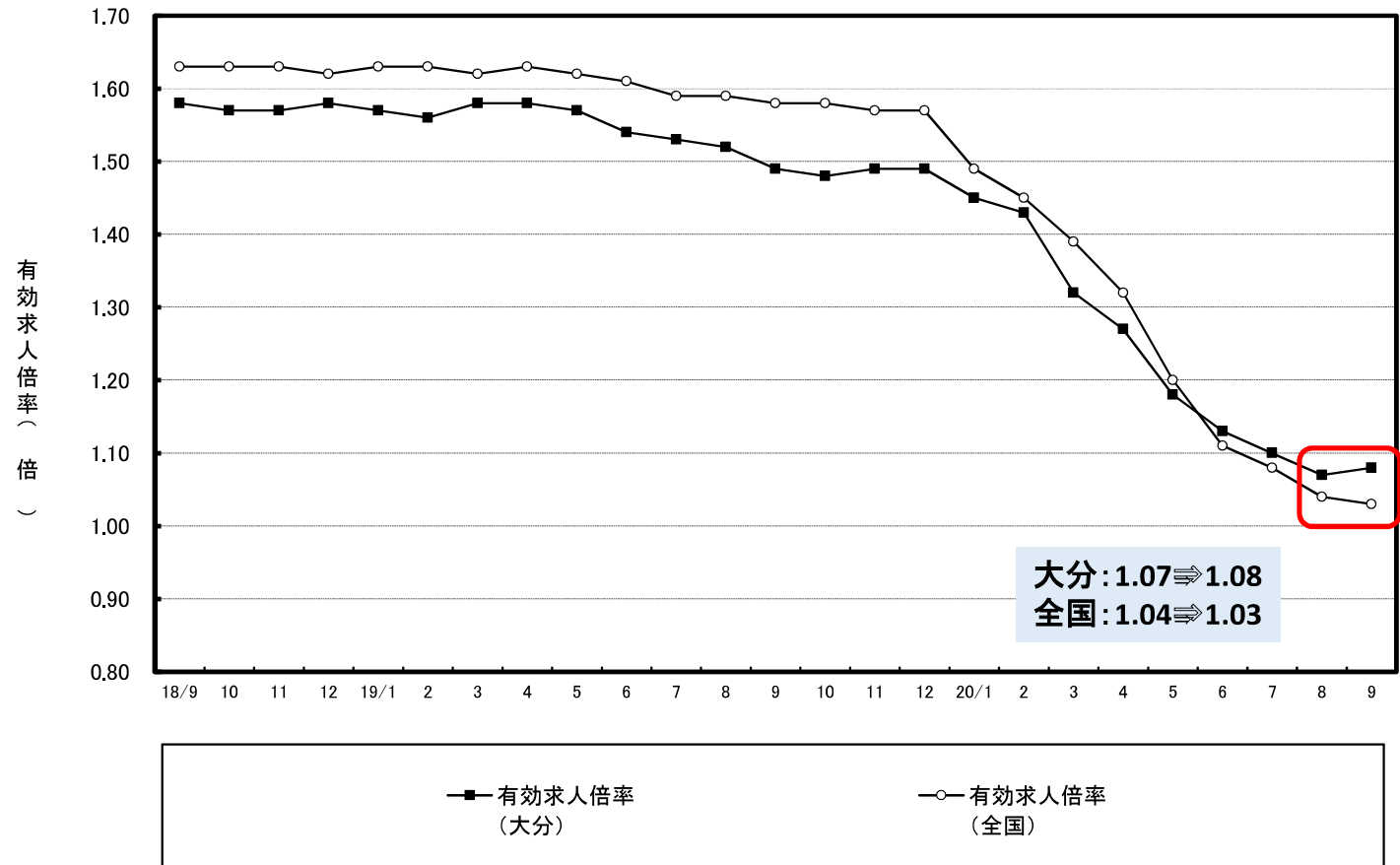
有効求人倍率は、10ヶ月ぶりに上昇している。(全国は9ヶ月連続低下)

大分-全国有効求人倍率の推移

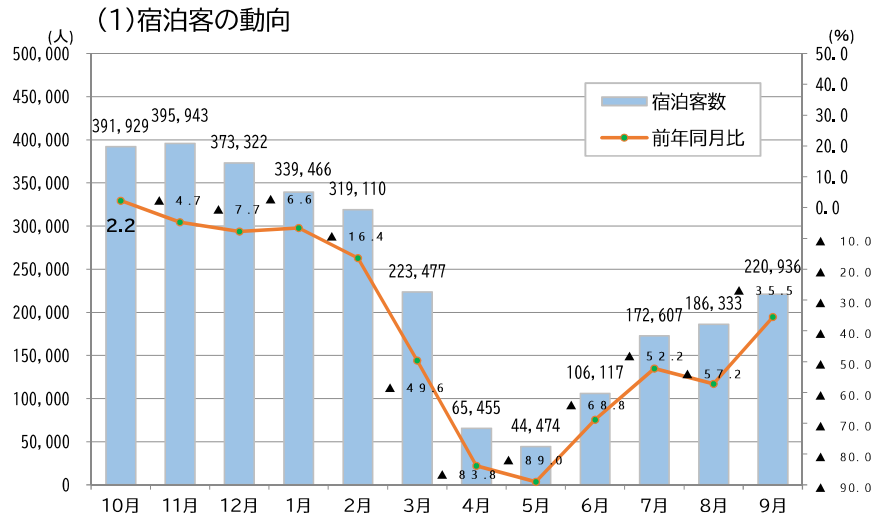
月	有効求人倍率 (大分)	有効求人倍率 (全国)
18/9	1.58	1.63
10	1.57	1.63
11	1.57	1.63
12	1.58	1.62
19/1	1.57	1.63
2	1.56	1.63
3	1.58	1.62
4	1.58	1.63
5	1.57	1.62
6	1.54	1.61
7	1.53	1.59
8	1.52	1.59
9	1.49	1.58
10	1.48	1.58
11	1.49	1.57
12	1.49	1.57
20/1	1.45	1.49
2	1.43	1.45
3	1.32	1.39
4	1.27	1.32
5	1.18	1.20
6	1.13	1.11
7	1.10	1.08
8	1.07	1.04
9	1.08	1.03

【出所】大分労働局

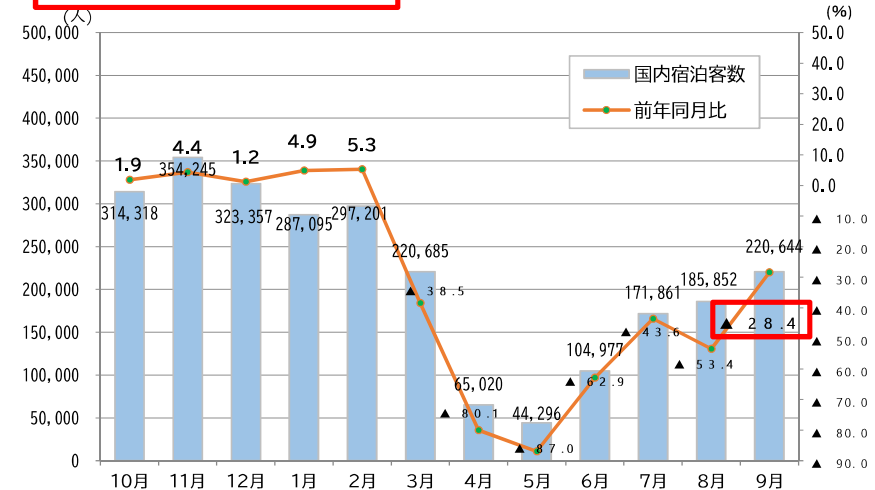
有効求人倍率の推移



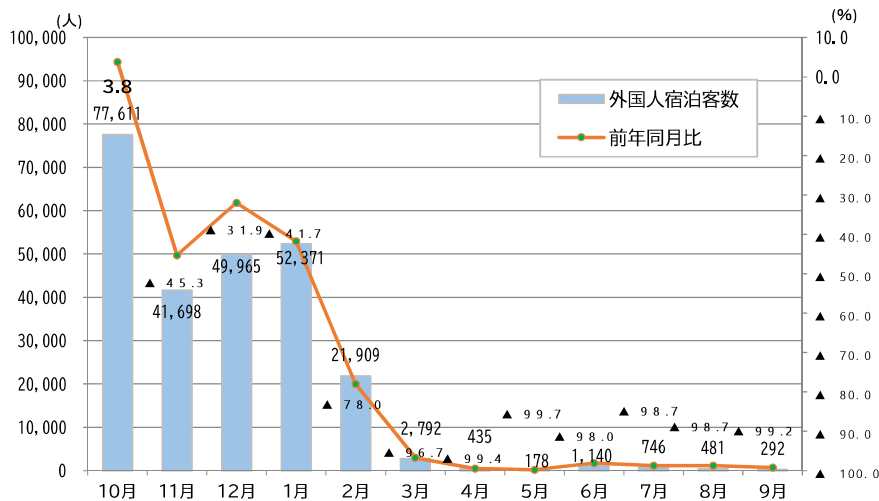
国内宿泊者数是对前年同月比で、7割を超えるところまで回復してきた。



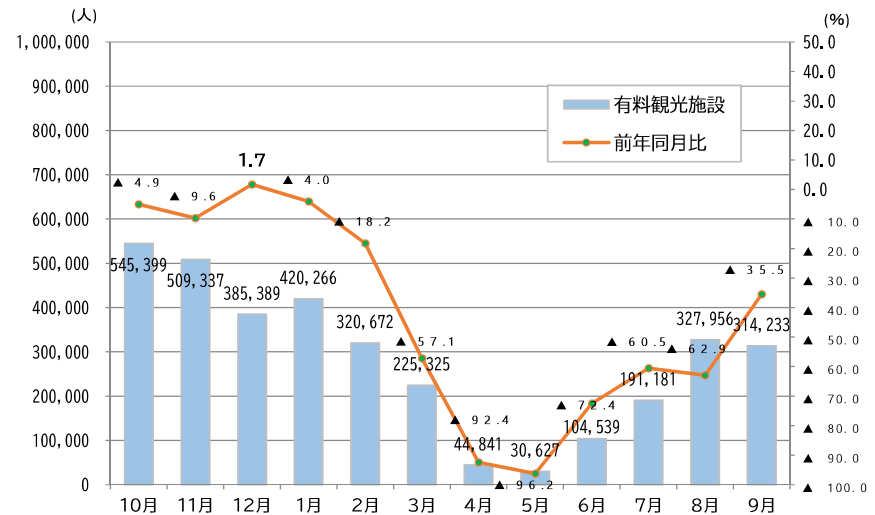
(1)-① 日本人宿泊客の動向



(1)-② 外国人宿泊客の動向



(2) 有料観光施設(入場客)の動向



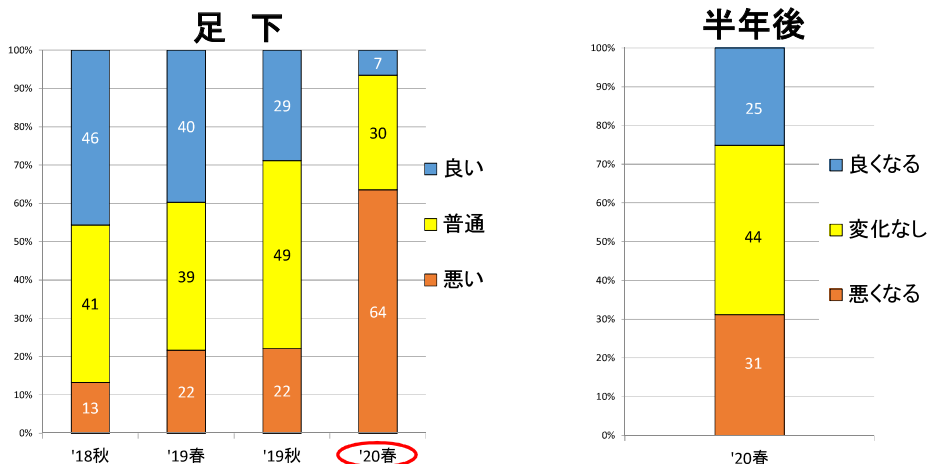
大分県社会経済 再活性化戦略 (概要)

令和2年8月27日
大分県商工観光労働部

一方、明るいデータも。「食品加工」や「通信・情報」の分野では、「良い影響が大いにあり」、と回答した企業もあり。

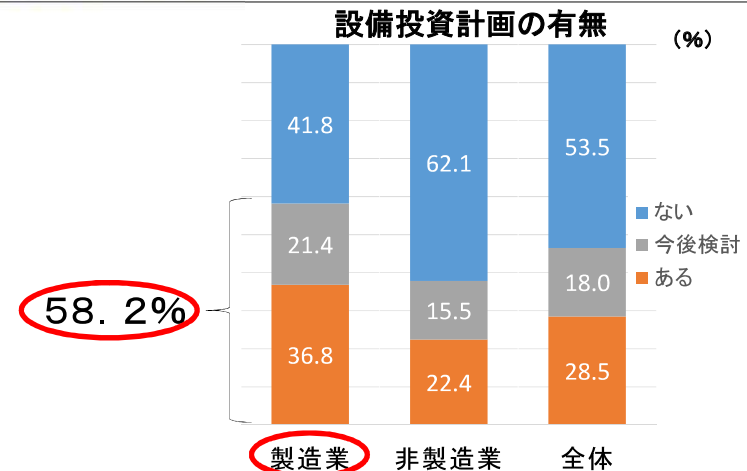
	悪い影響が大いにあり	悪い影響が少しあり	今後悪い影響の可能性	良い影響が大いにあり	良い影響が少しあり	今後良い影響の可能性	影響なし (%)
食品加工	59.4	14.1	3.1	10.9	1.6	3.1	7.8
電気機械	27.8	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	5.6
輸送機械	84.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通信・情報	26.9	34.6	13.5	5.8	5.8	5.8	7.6
飲食・宿泊	91.5	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
卸・小売	73.6	14.8	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9
運輸	71.4	21.5	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
土木・建設	9.7	19.4	22.6	0.0	3.1	9.7	35.5

足下の県内企業の景況感は悪い。先行きの不安感も大きい。



出典：大分県商工観光労働部「2020春の500社企業訪問実施結果について」より。以降のグラフも同様。

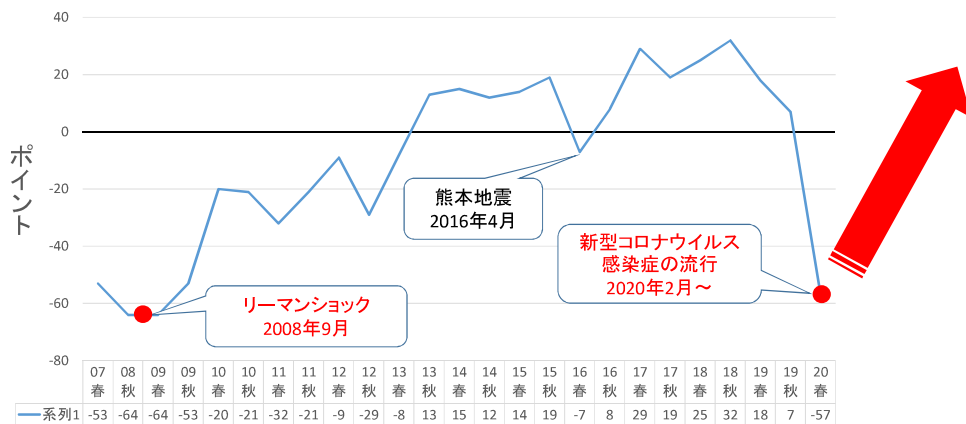
苦しいながらも、製造業においては、58.2%の企業が引き続き投資マインドを持っている。



本県の社会経済を緊急的に再活性化させる必要あり。

県内企業の業況判断指数(D.I)の推移

※ D.Iは、景況が「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」の割合を引いた値。



本戦略は、民間企業と行政等関係者が一丸となって大分県の未来を共に創り上げていくための、基本的な方向性を示す。

社会経済再活性化に向けた各分野の方向性

- (1) 観光、(2) 飲食、小売・商店街等、(3) 芸術文化・スポーツ、(4) 交通、(5) ものづくり、(6) 農林水産業、(7) 土木建築業、(8) ベンチャー・創業、(9) 宇宙港・先端技術、(10) イベントの活用

感染症に強い経済構造の構築

- (1) デジタル化・スマート化、
- (2) 地域のかや事業者のかによる「新しい生活様式」の実践、
- (3) 感染リスクの低い地方という強みを活かした新しい働き方の推進、
- (4) 不確実性への対応(BCP策定等)、
- (5) 関係事業者による経済再活性化会議等

社会経済再活性化に向けた各分野の方向性

(1) 観光

- ① 地域社会の観光客受入れに対する不安払拭と旅行者の安心確保
- ② 県民の県内周遊を促すための情報発信を強化
- ③ ワークेशनなどの「新しい旅のかたち」への移行、宿泊単価の向上や宿泊客減少への対応など経営の見直し
- ④ インバウンド回復等に向けた着実な準備
- ⑤ 安全で快適なアクセスができる道路環境の創出

(2) 飲食、小売・商店街等

- ① 感染症対策を徹底しながら安心して楽しく飲食できる「新しい生活様式」への移行・定着
- ② 経営効率化により収益を確保できる商いへの変化、人材育成含めた商店街等組織の体制強化
- ③ インターネットによる購入の増加・定着や地元経済の価値再発見など変化を捉える

(3) 芸術文化・スポーツ

- ① 「新しい生活様式」下でも主催者等がコンサートなどを催行できるよう、安全面と経済面のバランスがとれる仕組みの検討
- ② アーティスト活動と企業活動とのマッチング(製品づくり、デザイン等)

(4) 交通

- ① GoToキャンペーンと連動した地域交通の利用促進
- ② 「新しい生活様式」に対応した、車両やフェリー等の感染症対策の強化(恒久対策の実施)
- ③ 国内誘客の促進に向けた大分空港の魅力向上(ホーバークラフトの導入、スペースポート化、コンセッション方式導入の検討)

(5) ものづくり

中小企業の新しい分野への挑戦や新規の顧客獲得、計画された設備投資を停滞させない取組の推進

(6) 農林水産業

- ① インターネット販売など新たな販売チャンネルの拡充
- ② ニーズ変化に柔軟に対応できる商品形態の多様化
- ③ 生産物の多品目化等による収益構造の見直し
- ④ 資質の高い作業従事者の安定確保に向けた仕組みづくり
- ⑤ 作業の省力化に向けたスマート農林水産業の推進

(7) 土木建築業

感染拡大防止に努め、経済の下支え・県土強靱化につながる公共工事の早期・着実な執行

(8) ベンチャー・創業

- ① ベンチャー・創業を、若者や女性の多様化する生き方の受皿として残し続ける
- ② ベンチャーの力による経済・社会変化の加速化促進と支援
- ③ 成長志向起業家の育成と支援体制の構築

(9) 宇宙港・先端技術

- ① 宇宙港を核とした新たな産業育成
- ② 先端技術の活用による社会課題や地域課題の解決

(10) イベントの活用

- ① 大型イベントを活用した県産品の販売機会や芸術活動の発表機会の提供
- ② 総合補助金(新型コロナウイルス感染症対策緊急支援事業)における優良採択案件の県内各地での展開(県産魚のドライブスルー販売等)

感染症に強い経済構造の構築

(1) デジタル化・スマート化

- ① 行政のデジタル化の加速
- ② 情報通信インフラの高度化(5G、オープンデータ)
- ③ ICTを活用した教育の推進

(2) 地域力や事業者力による「新しい生活様式」の実践

「新しい生活様式」の実践に向けて、変化への対応・挑戦を後押しする取組の推進

(3) 感染リスクの低い地方という強みを活かした新しい働き方の推進

- ① 「dot.」の活用による移住・定住・県内就職の推進
- ② ワークーションなど新たなニーズへの的確な準備

(4) 不確実性への対応(BCP策定等)

BCP策定やデジタル化など、企業変革力を高め、新型コロナウイルスのみならず災害・海外情勢変化など不確実性に備える

(5) 関係事業者による経済再活性化会議等

- ① 関係者との議論の継続・強化(飲食・商店街部会、ベンチャー部会、創業部会、新産業部会、観光部会、商工団体部会、ものづくり部会、大分県文化振興県民会議等)
- ② Web商談会等による経済活動の継続